



公明党千葉市議会議員団 議会報 美浜区版

小さな声を形に！伊藤こうへい通信

令和5年度第3回定例会

～ 令和4年度決算～

令和5年9月6日から10月3日にかけて、第3回千葉市議会定例会が開催されました。

本定例会は、令和4年度の決算審査を主な目的とし、会派としても代表質疑や分科会を通じて意見を述べ、討論とあわせて誠実な対応を求めましたので、ご報告いたします。

令和4年度決算に賛成の立場から討論 ～主な概要について～

令和4年度の予算編成後、長期化する新型コロナウイルス感染症への対応の他、原油価格・物価高騰による影響から、一般会計で計8回にわたる補正予算を編成するなど、執行にあたっては、機動的な対応とあわせて税収等の影響や国庫補助金等の動向を注視し、効率的な予算執行に努める必要がありました。

このような中であって、一般会計の歳入・歳出では、55億6,500万円の実質収支を確保できたことは、評価できるところであります。

また、我が会派が要望する、感染症対策や物価高騰への的確な対応をはじめ、防災対策として、防災ラジオの更新配備や防災アプリを体験できる「スマホ講座」等の開催、市民施策では、兼ねてより強く要望してきた「おくやみコーナー」や「生活自立・仕事相談センター」が全区配置された他、教育行政では、公立夜間中学開校に向けての準備が着実に進め

られたなど、評価できる点でもあります。

今後も、老朽化する公共施設への対応や新たな社会インフラの整備などの投資も見込まれることから、収支状況を踏まえ、機動的かつ柔軟な対応に努めるよう求めます。



千葉市役所

代表質疑より一部抜粋

こども未来行政 ～こども子育て施策を前へ！子ども医療費助成制度を18歳まで拡充を！～

近年、「静かなる有事」「隠れた安全保障」とも言われる少子化は、コロナ禍で急速に進展し、昨年の出生数は77万747人と、1899年の統計調査開始後、初めて80万人を下回り、社会機能を継続できるかどうかの瀬戸際と呼ぶべき状況に直面しています。

また、出生率低下に加え、虐待、育児不安、産後うつ、貧困、不登校なども深刻化し、こどもの自殺者数は、昨年1年間で514人と過去最悪となりました。我々公明党は、昨年11月に、結婚、妊娠・出産から子どもが社会に巣立つまで、ライフステージに応じた切れ目のない政策を「子育て応援トータルプラン」としてまとめ各種施策の推進を求めてまいりました。

なかでも、子育て支援のさらなる充実として、こども医療費助成制度を将来的には18歳まで拡充するべきと考え求めてまいりました。政府としても、「こども未来戦略方針」が決定され、今後3年間の集中的な取り組みが示され、本市におけるこども子育て支援について市長に見解を伺いました。



小児医療に力をいれる海浜病院

神谷市長：国の「こども・子育て支援加速化プラン」には、児童手当の拡充、妊娠期からの伴走型相談支援の継続実施など盛り込まれており、制度が改正された場合には、子育て家庭に対する支援の充実に向け、的確な対応を図ってまいります。

こども医療費助成については、18歳までを対象とした自治体は、県内市町村においてはすでに7割を超え、政令市においても今後大半を占める状況となることを踏まえ、国の改善が図られない場合においても、本市独自に助成対象を18歳まで拡大することについて、来年度の実施に向けて検討してまいります。



4か月児健康診査

皆様の声を市政に届ける ～一般質問よりの一部を紹介～

重症心身障がい児・者への支援について ～生活介護事業所へ市独自の報酬加算を要望～

これまで、重症心身障がい児・者への理解と支援の充実を、家族の会の皆様とともに長年求めてまいりました。

本市では、生活介護事業所やグループホームの施設整備に取り組みはじめたことは、一定の評価をしております。

一方、既存の施設では、財政面での課題や専門職員の不足、医療との連携など多くの課題を抱えており、将来を見据えた福祉人材の確保や養成は重要な政策課題でもあります。

また、成人し大人になって事業所を利用する場合、生活介護の基準報酬に係る評価区分が設けられておらず、大人の受け入れが多くなると報酬加算が下がり、施設経営が厳しくなる現状にあります。

これまで、報酬加算について検討するとのことでしたが、未だ実施されていない現状です。

こうした現状を真摯に受け止めて、国の3年に一度の報酬



神谷市長と生活介護事業所を視察

改定を待つのではなく、本市独自の報酬加算について見解を伺いました。

保健福祉局長：重症心身障がい者の支援を評価する市独自の加算については、国において、障がい児と障がい者で報酬区分が異なっている現状も

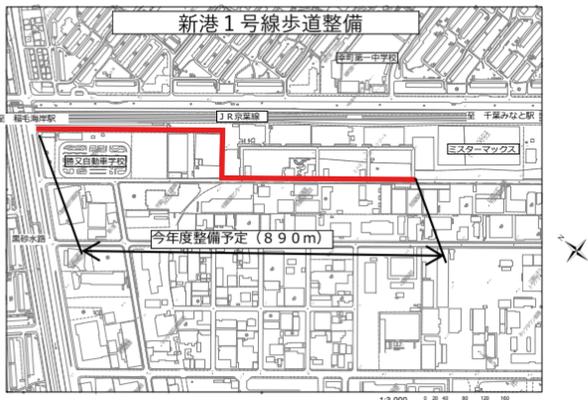
踏まえ、国の次期報酬改定を注視しつつ、本市が現在実施している重症心身障がい児・者等の調査や他自治体の取り組みを参考に検討してまいります。

Check !：通所者の成長と共に介助者の負担量も増加する一面があります。通所者があんしんしてケアを受けられる環境を整えるためにも、人材の確保や経営の安定を図る上で、報酬加算について強く求めてまいります。

新港1号線周辺の道路環境の改善について ～実現します!高洲・幸町2丁目住民の歩道空間の確保～

新港1号線は、旧自動車学校やミハマニューポート跡地に面した路線で、長年、近隣住民が商業施設等に向かうためのアクセシビリティの向上など、道路環境の改善が求められてきました。

こうした課題解決に向け、平成23年に議会で取り上げて以降も粘り強く課



題解決の提案を行い改善を要望してまいりました。

この間、新港1号線に隣接する施設にも変化が見られ、大型商業施設の撤退により、照明が撤去されたことで、道路が暗く見通しが悪くなり安心して通行し難い状況が続いております。

建設局長の答弁では、用地を取得することができたことや、延長890メートル、幅員2メートルから2.5メートルの歩道を設置する工事の発注に向け、手続きを進めているとの答弁がありました。

Check !：歩行空間の確保に努め、街灯などの設置位置は十分検討することや、歩道外での設置に心がけることやカメラの設置など防犯対策に努め、高齢者や障がい者が通行しやすい環境を整えることを求めました。

課題として、千葉県が所管する用水路を横断する避難路については、引き続き取り組んでまいります。

稲毛海岸駅周辺のバリアフリー対策について ～実現します!稲毛海岸駅北側第1駐輪場付近のバリアフリー～

近年、道路の段差や継ぎ目、路面標示の凹凸などでも転倒し改善を求める声が多く寄せられています。

稲毛海岸駅周辺でも、同様の相談が寄せられている他、車いすなど補装具を必要とする方や高齢の介助者からは、歩道に乗り上げられないなど、駅周辺の改善が求められています。

また、稲毛海岸駅北側の第1駐輪場に隣接する歩道は、幅員が1.4メートルと狭く、歩行者と車いすとの相互通行が困難となっている状況です。さらには、自転車が一方通行を逆走する光景や歩道を走行する状況も散見され、地域から改善が求められてきました。



稲毛海岸駅周辺の修繕

建設局長の答弁では、稲毛海岸駅周辺のバリアフリー対策は、誰もが安全で安心して移動できる道路環境の整備を行っていく必要があることから、段差の解消と平坦性の確保など生活関連経路の改善に取り組んでいくとありました。また、駅北側の第1駐輪場に接するバリアフリーへの対応については、歩道の安全性の確保に課題があるものと考えており、千葉県公安委員会と協議を進めていること、歩道の拡幅や自転車と歩行者の通行区分を明確にするため幅員の見直しなど検討していくとありました。



海浜松風通り出入り口付近

Check !：車いすは歩行者としての通行方法によることとなりますが、身体障がい者用の車いすの基準に適合しない電動車いすは、歩行者として扱われませんのでご注意ください。

市政に関するご意見ご要望をお寄せください。

千葉市議会議員

伊藤こうへい

〒261-0001
千葉市美浜区幸町 2-6-1-408

Tel
070-7667-3094